

1 頭飛来した。その時の生態写真と展翅写真が図 1 および 2 である。



図 1 福崎町のナカモンカギバ 著者撮影。



図 2 福崎町のナカモンカギバの展翅標本 著者撮影。

### 市川町のナカモンカギバ

8月7日の午後9時40分頃、市川町屋形の播但連絡自動車道にある市川サービスエリアの上下線を往来するための地下トンネル通路の西側の出口付近でナカモンカギバがいるのを見つけた。白い壁に静止しているとつい見過ごしてしまうところであった。その時に撮影したのが図3である。このガも毒瓶に捕らえたが展翅に失敗してしまったので展翅標本はここでは提示しない。

両町でのナカモンカギバとも全く擦れていない新鮮な個体であった。

以上、福崎町と市川町でのナカモンカギバについて報告したが、本種は希少種ではあるが薄く広範囲に生息しているものと思われる。



図 3 市川町のナカモンカギバ 著者撮影。

### ○参考文献

Digital Moths of Japan, ナカモンカギバ. [http://www.jpmoth.org/Drepanidae/Drepaninae/Cilix\\_filipjevi\\_malivora.html](http://www.jpmoth.org/Drepanidae/Drepaninae/Cilix_filipjevi_malivora.html)

(Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町)

### 2017年の兵庫県市川町でのシンジュキノカワガの採集記録

高橋輝男

シンジュキノカワガ (*Eligma narcissus*) は中国原産のガで、コブガ科シンジュガ亜科に属しており開張は67～77mmの大型で極めて美しいヤガである。発生時期は4～5月および9～10月とされている(江崎ら, 1999)。

2015, 2016の2年間、兵庫県市川町にある播但自動車連絡道の市川パーキングエリア付近でこのガを観察・採集しているが(高橋, 2016)、今年も当該パーキングエリア内で♂♀各1頭を採集したので報告する。

### 1 頭目のシンジュキノカワガ

10月25日の午後9時頃に当該パーキングエリア内の下り線側にある西側の通路を歩いていると突然大型のガが下側の林から水銀灯に向かって舞い上がってきた。後翅の黄色い部分がチラッと見えたので、すかさず持参していた小さな捕虫網で捕獲した。生体写真を撮影するために明るい所に行きコンクリートの壁に止まらせて撮影したものが図1であり、全く損傷のない羽化直後と思われる大変綺麗な個体であった。手に乗せると図2のように擬死状態になった。この個体を展翅したものが図3で、♂であった。



図1 10月25日に採集したシンジュキノカワガ 著者撮影.



図4 10月29日に採集したシンジュキノカワガ 著者撮影.



図2 10月25日に採集したシンジュキノカワガ 著者撮影.



図5 10月29日に採集したシンジュキノカワガ 著者撮影.



図3 10月25日に採集したシンジュキノカワガの展翅標本 著者撮影.



図6 10月29日に採集したシンジュキノカワガの展翅標本 著者撮影.

## 2頭目のシンジュキノカワガ

その後も探索を続けた結果, 10月29日の午後10時少し前に, 2頭目のシンジュキノカワガが1頭目の時と同じく西側のテラス付近の階段で1頭目と同じように下側の林から水銀灯に向かって舞い上がってきた. 2頭目のガはあちこち飛び回り最終的に図4のように上下線を往来するためのトンネルの西側入り口の壁面上部で静止した. その個体は手に取っても図5のように擬死状態にはならなかった. 図6は2頭目のシンジュキノカワガの展翅標本である. この個体は♀であった.

今回報告したシンジュキノカワガの採集場所は2015年と2016年に観察・採集した場所とほぼ同じ所である. 3年にわたる観察で発生場所は当該パーキングエリアの西側と推定される.

今年は発生時期が前年より少し遅いように感じられ

たので11月上旬まで探索を続けたがそれ以上見つけることは出来なかった. なおこのガの発生時期はすでに述べたように4~5月および9~10月とされているが, 当該パーキングエリアではこの3年間では10月下旬にしか観られていない. ガの発生の周年経過と関係があるものと思われる.

## ○参考文献

- 江崎悌三・一色周知 他 共著, 1999. 改訂新版 原色日本蛾類図鑑(下). p.132, 保育社  
高橋輝男, 2016. 二年連続して兵庫県市川町でシンジュキノカワガを観察・採集. きべりはむし, 39(1): 22-23.

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)